



地域を見つめる経済情報誌

# 長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

## 景況調査レポート



上高井郡 高山村  
山田牧場から望む善光寺平

将棋の第81期名人戦の開催地として、全国的に有名となった信州高山村。笠岳(2076m)の南西の裾に広がる山田牧場は、明治33年に開場の歴史ある牧場。広大な放牧地で牛がのんびりと草を食む光景は、スイスの高原を彷彿とさせます。彼方に見える善光寺平の街並み。下界の暑さをよそに標高1600mの草原を涼風が吹き抜けていきます。

- 長野しんきん 景況調査レポート ..... 2
- 企業アンケート「人材育成」① ..... 6
- 生活者アンケート「就業意識」① ..... 9
- 北信濃 明治時代の風景 (16) 大門町周辺 ..... 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)

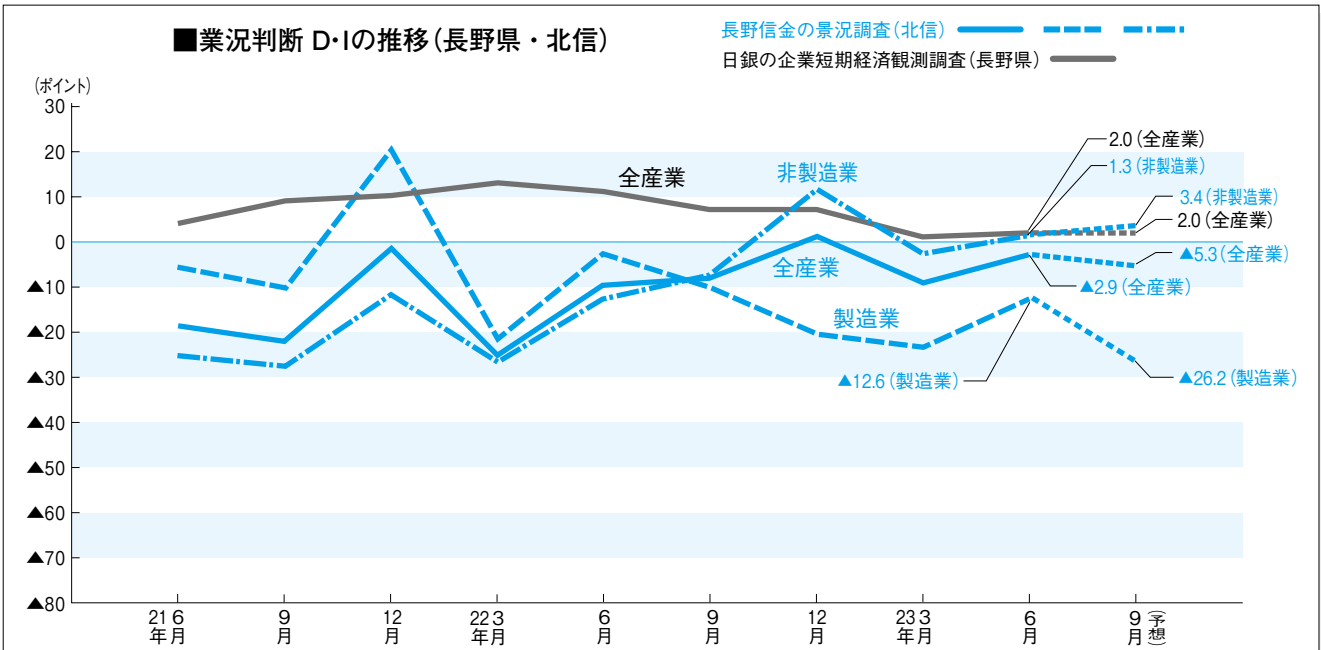


これからも、ずっといっしょに、このまちで



# 景況調査レポート 概況 (第192回景況アンケート調査)

◆長野県北信地区◆2023年4～6月期…景況の現状 ◇2023年7～9月期…景況の見通し



D-I指数は、業況について「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値(四半期ごとに実施する景況アンケートに基づく)

## 全産業▲9 → ▲3 製造業・非製造業はともに改善

2023年4～6月期の業況判断D-Iは、全産業で6ポイント改善して▲3となりました。製造業は10ポイント改善の▲13、非製造業は4ポイント改善の+1です。

2023年7～9月期の全産業の業況判断D-I(予想)は、2ポイント悪化の▲5となりました。

### ◆北信地区の4月～6月期の業況判断D-I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	▲9	▲3 (6ポイント改善)	▲5
製造業	▲23	▲13 (10ポイント改善)	▲26
非製造業	▲3	+1 (4ポイント改善)	+3

## 非製造業▲3 → +1 建設業が悪化

非製造業の業種別業況判断D-Iは、建設業が▲5(前期比▲8ポイント)、卸小売業が▲5(同+7ポイント)、

### ◆非製造業の業種別業況判断D-I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲3	+1 (4ポイント改善)	+3
建設業	+3	▲5 (8ポイント悪化)	▲3
卸小売業	▲12	▲5 (7ポイント改善)	▲5
サービス業	▲2	+17 (19ポイント改善)	+22

サービス業が+17(同+19ポイント)となり、建設業が悪化しています。

### ◆売上高D-Iと収益判断D-I

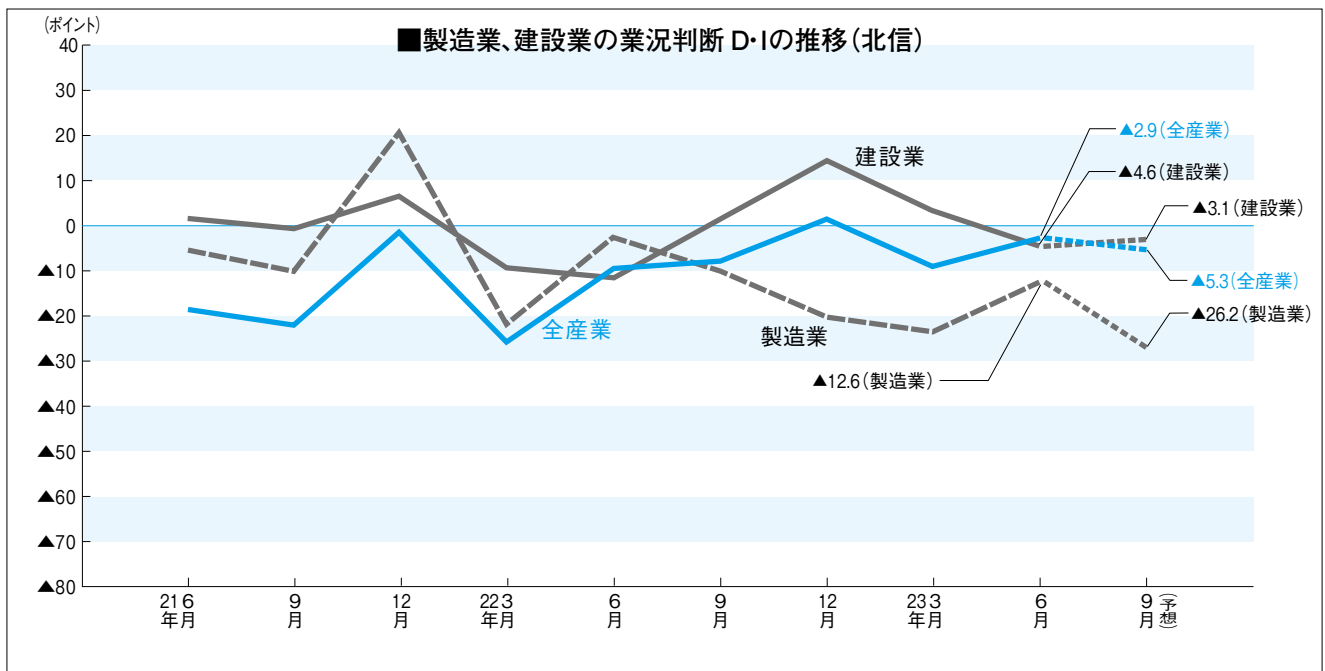
	売上高D-I(「増加」-「減少」)		収益判断D-I(「増益」-「減益」)	
	前期	今期	前期	今期
全産業	▲14	+2 (改善)	▲21	▲6 (改善)
製造業	▲20	▲8 (改善)	▲21	▲17 (改善)
非製造業	▲11	+5 (改善)	▲21	▲1 (改善)

### ●北信地区の業況判断D-Iの推移

	2022年9月	12月	2023年3月	6月	9月(予想)
全産業	▲8.0	+1.4	▲9.0	▲2.9	▲5.3
製造業	▲10.0	▲20.3	▲23.1	▲12.6	▲26.2
非製造業	▲7.3	+11.4	▲2.8	+1.3	+3.4

### 【調査要領】

- 調査実施……2023年6月
- 調査対象企業(回収)
  - 製造業……64社
  - 建設業……65社
  - 卸小売業……44社
  - サービス業……41社
- 回収率……86.6%
- 従業員規模
  - 30人未満……76.6%
- 分析…D-I判断指数を中心に分析
- 合計……214社



## 製造業の景況

11期改善して▲13に、来期は悪化の予想

製造業の4～6月期の業況判断D-Iは▲13で、前期(▲23)に比べ11期改善となりました。7～9月期は今期より13期悪化の▲26の予想です。

◆業況判断D-I	(前期)	1～3月期	▲23
	(今期)	4～6月期	▲13
	(来期)	7～9月期	▲26(予想)

### ◇業種別業況判断D-I

改善	食料品・自動車部品
悪化	木材木製品・金属加工・一般機械・電気機械・精密機械

◆収益判断D-I(「増益」-「減益」)…▲17(4期改善)

「増益」割合	前期	15%	→	17%	(2期増加)
「減益」割合	前期	36%	→	34%	(2期減少)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期	41%	→	33%	(8期減少)
「収支トントン」	前期	41%	→	55%	(14期増加)
「赤字」	前期	18%	→	13%	(5期減少)

### 企業からのコメント

- ☆★9月に値上げを予定しているが、業界がまとまらず、値上げしないメーカーもあって心配している。今後の原料状況も気がかりだ。(乾麺・生麺)
- ☆★原材料価格の値上げはやや落ち着いてきたが、ほかに仕入品の値上げも続いており、特に鋼材関係(ステンレス・真鍮等)の値上げ幅が大きい。(各種プラスチック製品)
- ★PC関連は、コロナ禍の状況に比べ減少。半導体関連は、引き続き低迷状況が続くそう。(PC関連機器)

## 建設業の景況

8期悪化して▲5に、来期は改善の予想

建設業の4～6月期の業況判断D-Iは▲5で、前回(+3)に比べ8期悪化しています。7～9月期は今期より2期改善の▲3の予想です。

◆業況判断D-I	(前期)	1～3月期	+3
	(今期)	4～6月期	▲5
	(来期)	7～9月期	▲3(予想)

◇業種別	総合建設	前期	+10	→	+20(10期改善)
	土木工事	前期	▲8	→	▲31(23期悪化)
	建築	前期	▲14	→	±0(14期改善)
	各種設備	前期	+27	→	▲9(36期悪化)

◆収益判断D-I(「増益」-「減益」)…▲2(19期改善)

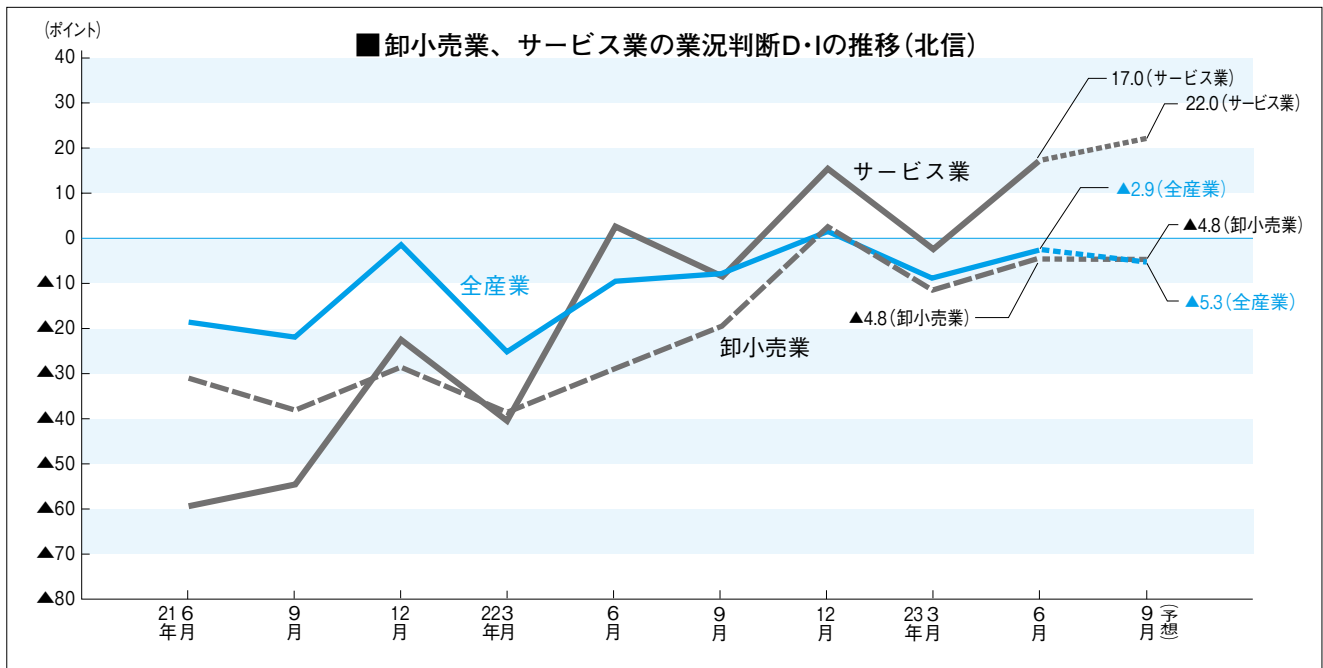
「増益」割合	前期	13%	→	21%	(8期増加)
「減益」割合	前期	34%	→	22%	(12期減少)

◆現在の採算状況…横ばい

「利益確保」	前期	52%	→	51%	(1期減少)
「収支トントン」	前期	44%	→	46%	(2期増加)
「赤字」	前期	5%	→	3%	(2期減少)

### 企業からのコメント

- ☆★最近の一般住宅の動向は、施主の選択が「ローコスト住宅」か「高価格帯のハウスメーカー」かに2極化しているようだ。
- ★資材価格は高値安定しており、建築コストの上昇に歯止めかからず人手不足も続く。(総合建設)
- ★☆7～9月の工事量は落ちるが、それ以降は増加が見込めそう。今後の課題は、「価格転嫁」「技能者確保(協力業者を含む)」が上げられる。(内装仕上)



## 卸小売業の景況

7割改善の▲5、来期は横ばいの予想

卸小売業の4～6月期の業況判断D・Iは▲5で、前回(▲12)に比べ7割改善しました。7～9月期の業況判断D・Iは横ばいの▲5の予想です。

◆業況判断D・I	(前期)	1～3月期	▲12
	(今期)	4～6月期	▲5
	(来期)	7～9月期	▲5(予想)

◇業種別	卸売業	前期 ▲20 → ▲6 (14割改善)
	小売業	前期 ▲7 → ▲4 (3割改善)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲18 (17割改善)

「増益」割合	前期 5% → 7% (2割増加)
「減益」割合	前期 40% → 25% (15割減少)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期28% → 34% (6割増加)
「収支トントン」	前期56% → 50% (6割減少)
「赤字」	前期16% → 16% (横ばい)

## 企業からのコメント

- ☆イベント等に再開の動きがあり、消費への波及効果を期待するところである。(家具インテリア)
- ★コロナ明けで、少しは売上げが戻ったと思ったが逆でした。巣ごもり需要は終わった。(花鉢卸)
- ★観光地で土産品を購入することが減少している。他人に品物を贈ることはなくなった。自分にとって必要であれば購入する。(土産品)
- ☆新型コロナウイルスが5類になってから、やや人の動きが良くなってきた。(和洋菓子)

## サービス業の景況

19割改善の+17、来期も改善の予想

サービス業全体の4～6月期の業況判断D・Iは+17で、前回(▲2)と比べ19割改善しました。業種別では、外食・不動産が改善し、輸送・タクシー・運輸・観光が悪化しています。7～9月期の業況判断D・I(予想)は5割改善の+22です。

◆業況判断D・I	(前期)	1～3月期	▲2
	(今期)	4～6月期	+17
	(来期)	7～9月期	+22(予想)

◇業種別業況判断D・I

サービス	前期 +14 → +25 (11割改善)
輸送	前期 +33 → ▲11 (44割悪化)
タクシー	前期 +100 → +33 (67割悪化)
運輸	前期 ±0 → ▲33 (33割悪化)
外食	前期 ▲13 → +50 (63割改善)
観光	前期 ▲38 → ▲43 (5割悪化)
不動産	前期 ▲9 → +56 (65割改善)

## 企業からのコメント

- ☆★コロナ禍は沈静状態となり、業況は回復傾向にある。予想以上に団体の問合わせはあるが、従業員の確保は非常に難しい。(日本旅館)
- ☆来店客数は増加している。県外からの来店客もかなり戻ってきている。(そば店)
- ☆★売上げは過去と現在の影響を受けるが、費用は現在と未来の影響を強く受けている。先行投資の費用になればよいが、不安はある。(貨物運送)



## 雇用情勢 4～6月期

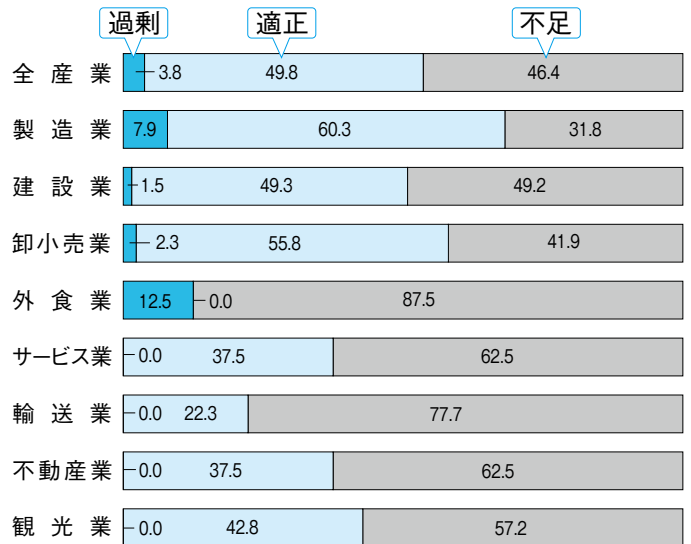
### 製造が改善

従業員の過不足感(「過剰」-「不足」)は、全産業で▲43となり、前回(▲36)に比べ6ポイント悪化しています。

#### 雇用情勢 (「過剰」-「不足」)

業種	前期(1～3月)	今期(4～6月)
全産業	▲36.3	▲42.6
製造業	▲27.2	▲23.9
建設業	▲44.2	▲47.7
卸小売業	▲37.2	▲39.6
外食業	▲33.3	▲75.0
サービス業	▲28.6	▲62.5
輸送業	▲75.0	▲77.7
不動産業	▲20.0	▲62.5
観光業	▲37.5	▲57.2

#### 従業員の過不足感 (%)



(資料:当金庫)

## 資金繰り 4～6月期

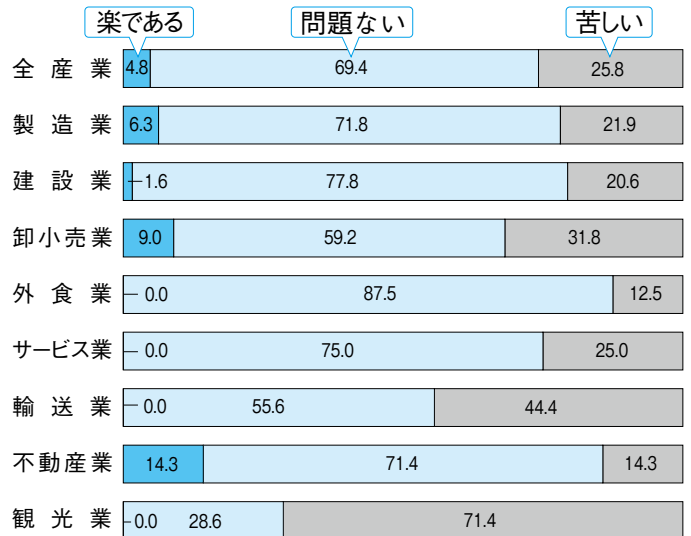
### 製造・卸小売・不動産・観光が改善

資金繰り状況判断(「楽である」-「苦しい」)は、全産業で▲21となり、前回(▲24)に比べ3ポイント改善しています。

#### 資金繰り (「楽である」-「苦しい」)

業種	前期(1～3月)	今期(4～6月)	来期(7～9月)
全産業	▲23.5	▲21.0	▲23.5
製造業	▲25.8	▲15.6	▲20.5
建設業	▲15.0	▲19.0	▲20.3
卸小売業	▲25.6	▲22.8	▲32.5
外食業	±0	▲12.5	▲14.3
サービス業	±0	▲25.0	▲25.0
輸送業	▲33.3	▲44.4	▲33.3
不動産業	▲27.3	±0	±0
観光業	▲87.5	▲71.4	▲42.9

#### 資金繰り状況感 (%)



(資料:当金庫)

## 販売価格動向 4～6月期

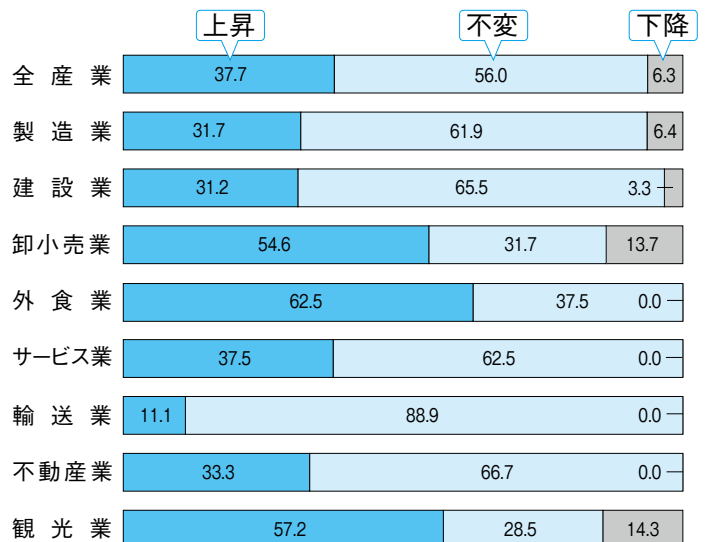
### 卸小売・外食・サービス・不動産・観光が上昇

販売価格動向(「上昇」-「下降」)は、全産業で+31となり、前回(+32)に比べ1ポイント悪化しています。

#### 販売価格動向 (「上昇」-「下降」)

業種	前期(1～3月)	今期(4～6月)	来期(7～9月)
全産業	+31.8	+31.4	+24.5
製造業	+31.8	+25.3	+27.4
建設業	+39.7	+27.9	+8.1
卸小売業	+34.9	+40.9	+35.0
外食業	+55.5	+62.5	+57.1
サービス業	+28.6	+37.5	+25.0
輸送業	+11.1	+11.1	+22.2
不動産業	▲10.0	+33.3	+44.4
観光業	+12.5	+42.9	+28.6

#### 業種別販売価格動向(対前期) (%)



(資料:当金庫)

「求める人材」で重視しているもの

「真面目で誠実な人柄」42% 「コミュニケーション能力」39%  
 「協調性」37% 「専門的なスキル」32% 「行動力」25%

企業アンケート  
 「人材育成」①  
 2023年6月調査

実施している「人材育成策」

「日常業務での実地による教育訓練」65% 「公的資格取得の支援」24%  
 「セミナー・勉強会での知識の習得」15% 「特になし」17%

「求める人材」で重視しているもの 上位5項目は「真面目で誠実な人柄」42%、「コミュニケーション能力」39%、「協調性」37%、「専門的なスキル」32%、「行動力」25%でした。

実施している「人材育成策」 上位5項目は「日常業務での実地による教育訓練」65%、「公的資格取得の支援」24%、「セミナー・勉強会での知識の習得」15%、「業務分野ごとの研修」14%、「外部機関による研修教育」13%で、「特になし」は17%でした。

「求める人材」で重視しているもの

「真面目で誠実な人柄」42%  
 「コミュニケーション能力」39%  
 「協調性」37%  
 「専門的なスキル」32%  
 「行動力」25%

「求める人材に関して、重視しているもの」を聞

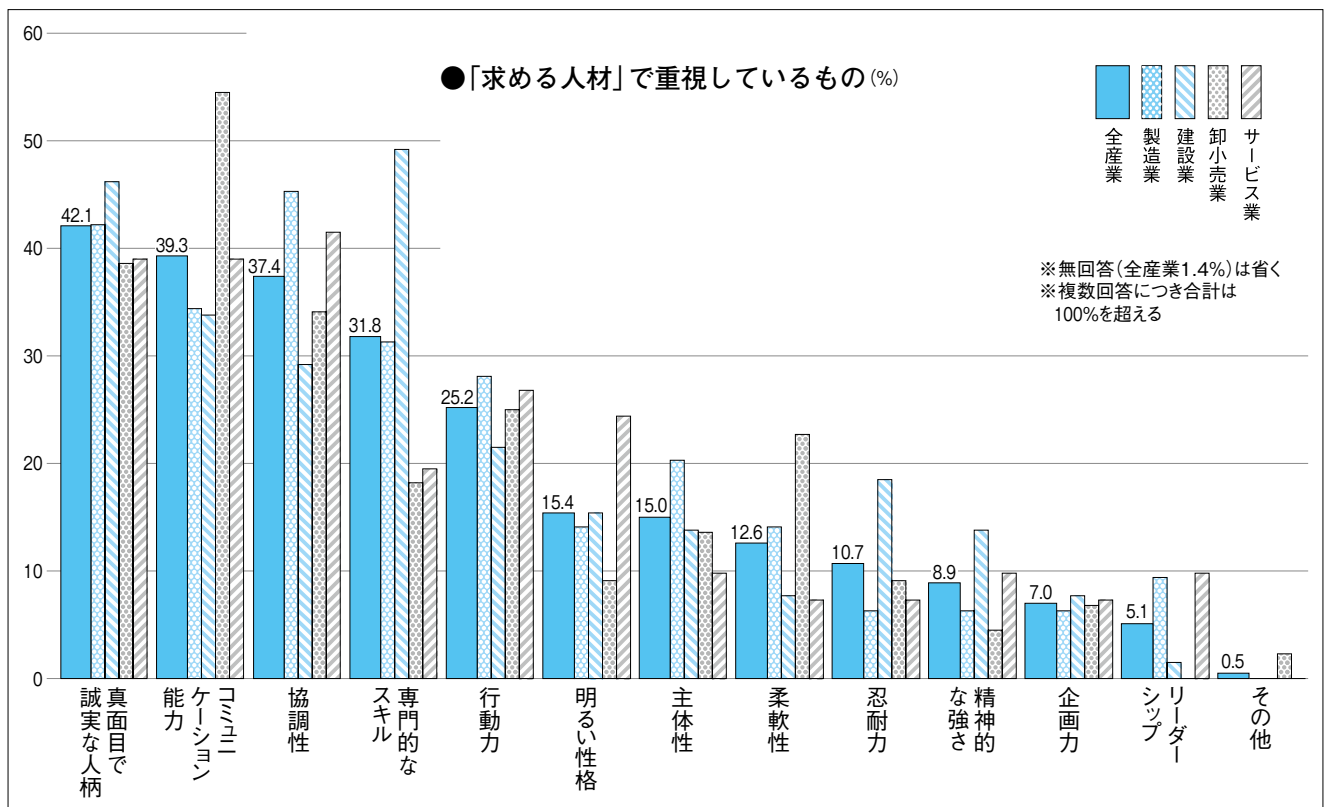
きました。

「真面目で誠実な人柄」(42%)がトップで、以下「コミュニケーション能力」(39%)、「協調性」(37%)、「専門的なスキル」(32%)、「行動力」(25%)、「明るい性格」(15%)、「主体性」(15%)、「柔軟性」(13%)、「忍耐力」(11%)が2ケタとなりました。

従業員規模で見ると、30人未満の「真面目で誠実な人柄」(45%)が13票、「忍耐力」(12%)が6票、30人以上より高く、30人以上は「行動力」(36%)が14票、「精神的な強さ」(18%)が12票、「主体性」(22%)と「協調性」(44%)がともに9票、「コミュニケーション能力」(44%)が6票、それぞれ30人未満より高くなっています。

◇4業種の状況

製造業 「協調性」(45%)、「行動力」(28%)、「主体性」(20%)は他業種に比べ最も高く、他方「企画力」と「忍耐力」(ともに6%)は他業種に比べ最も



低くなっています。

**建設業** 「専門的なスキル」(49%)、「真面目で誠実な人柄」(46%)、「忍耐力」(19%)、「精神的な強さ」(14%)、「企画力」(8%)は他業種に比べ最も高く、他方「コミュニケーション能力」(34%)、「協調性」(29%)、「行動力」(22%)は他業種に比べ最も低くなっています。

**卸小売業** 「コミュニケーション能力」(55%)、「柔軟性」(23%)は他業種に比べ最も高く、他方「真面目で誠実な人柄」(39%)、「専門的なスキル」(18%)、「明るい性格」(9%)、「精神的な強さ」(5%)、「リーダーシップ」(0%)は他業種に比べ最も低くなっています。

**サービス業** 「明るい性格」(24%)、「リーダーシップ」(10%)は他業種に比べ最も高く、他方「主体性」(10%)、「柔軟性」(7%)は他業種に比べ最も低くなっています。

実施している「人材育成策」

- 「日常業務での実地による教育訓練」65%
- 「公的資格取得の支援」24%
- 「セミナー・勉強会での知識の習得」15%
- 「業務分野ごとの研修」14%
- 「外部機関による研修教育」13%

「実施している人材育成策」について聞きました。

「日常業務での実地による教育訓練」(65%)がトップで、以下「公的資格取得の支援」(24%)、「セミナー・勉強会での知識の習得」(15%)、「業務分野ごとの研修」(14%)、「外部機関による研修教育」(13%)が2ケタとなり、「特になし」は17%という結果となりました。

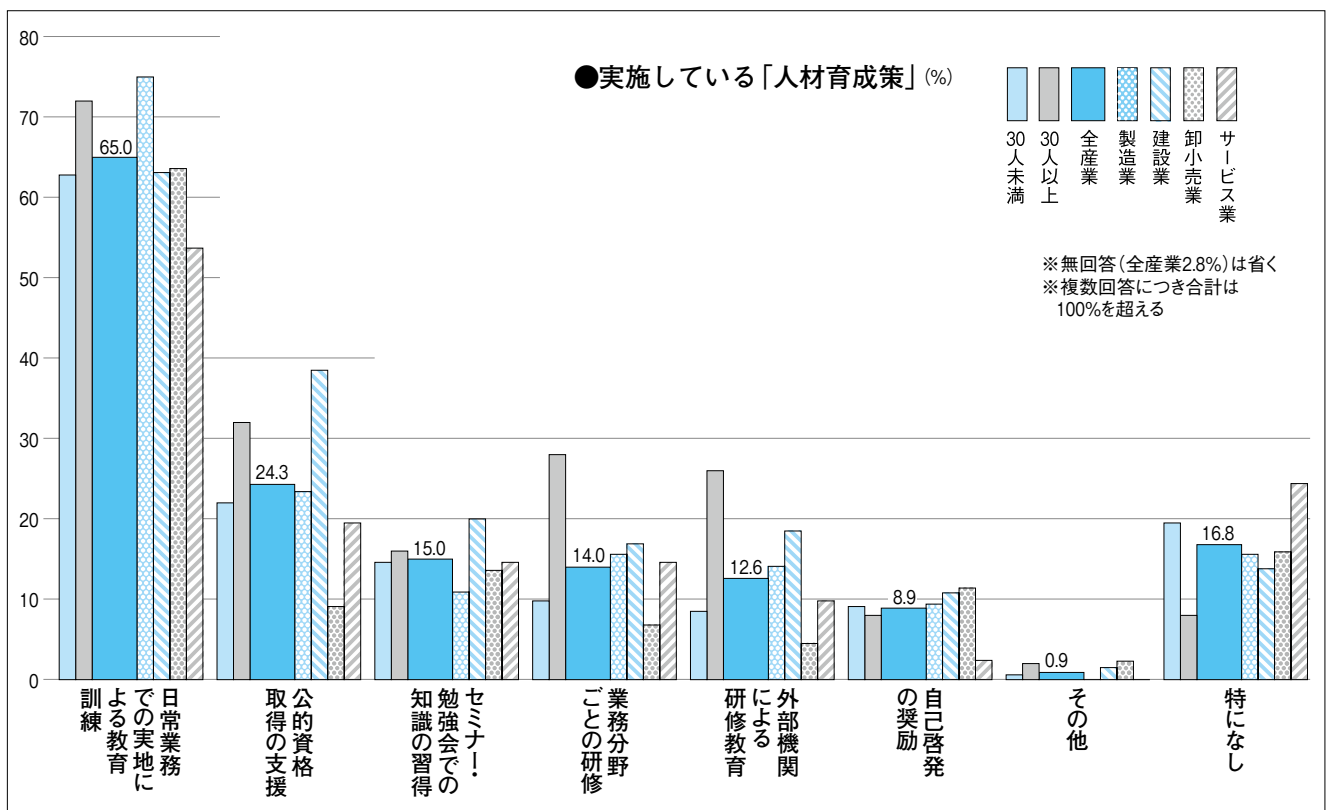
従業員規模で見ると、30人未満は「特になし」(20%)が12割、30人以上より高く、30人以上は「業務分野ごとの研修」(28%)と「外部機関による研修教育」(26%)がともに18割、「公的資格取得の支援」(32%)が10割、「日常業務での実地による教育訓練」(72%)が9割、それぞれ30人未満より高くなっています。

◇4業種の状況

**製造業** 「日常業務での実地による教育訓練」(75%)は他業種に比べ最も高く、他方「セミナー・勉強会での知識の習得」(11%)は他業種に比べ最も低くなっています。

**建設業** 「公的資格取得の支援」(39%)、「セミナー・勉強会での知識の習得」(20%)、「外部機関による研修教育」(19%)、「業務分野ごとの研修」(17%)は他業種に比べ最も高く、他方「特になし」(14%)は他業種に比べ最も低くなっています。

**卸小売業** 「自己啓発の奨励」(11%)は他業種に比べ最も高く、他方「公的資格取得の支援」(9%)、



「業務分野ごとの研修」(7%)、「外部機関による研修教育」(5%)は他業種に比べ最も低くなっています。

**サービス業** 「特になし」(24%)は他業種に比べ最も高く、他方「日常業務での実地による教育訓練」(54%)、「自己啓発の奨励」(2%)は、他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「人材育成に関する課題」と「不足している人材」を予定

**[調査要領]**

実施期日：2023年6月上旬～中旬

実施方法：第192回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収214社(製造業64社、建設業65社、卸小売業44社、サービス業41社)

うち従業員30人未満164社(76.6%)

**「人材育成」に関する企業からのコメント**

**製造業**

- ◇当社は、基本的に中途採用が多いため、指導方法も難しいと感じている。アナログ的な職場組織の脱却に向けて奮闘中である。(中華麺)
- ◇ハローワーク等の求人活動のみでは、優れた人材は確保しにくい。求人情報会社に登録するとコストが増大してしまう。(なめ茸)
- ◇社員の高齢化(再雇用の延長等)によって、なかなか世代交替が進まず、また社員の人材育成策についてもマンネリ化している。(プラスチック製品)
- ◇言ってみて、やって聞かせて、やらせてみて、褒めてやらねば人は動かない。(乾麺・生冷凍麺)
- ◇若い人の資質と仕事に向かう意識の差が大きく異なるため、昔と違い、社員の育成は非常に難しい時代になっていると感じている。(農産品)
- ◇これからの“時代に合った”教育が必要になってくる。今までの方策は、変えていく時期に来ているのかもしれない。(乾麺・生麺)
- ◇研修が「ZOOM」で受けられる時代になり、費用がそれほどかからないために、開催する機会が多くなった。(食料品)
- ◇新入社員を教育する「現場の人材」が不足しており、現場を効率よく動かしながら、新人教育をしていく難しさを感じている。(金属製品加工)
- ◇各工場やセクションに適した「人材雇用と育成」が難しい。(PC関連機材)
- ◇人材募集では相応の応募はあるが、当社が希望する“人材”は集まらない。(医療機器)

**建設業**

- ◇“技能の伝承”をするため、約40年間継続している訓練学園は、技能者の定着に寄与している。今後は、営業・事務職への教育形態を中心にしながら、

コミュニケーション・トレーニングを実施していく。(内装仕上)

- ◇「若手の育成」を自社で行うには無理があるため、費用が掛かっても第三者にお願いをしている。
- ◇若手職員・中堅社員・マネジメント層等、階層別の研修を行いたい希望はあるが、当社規模では人的・物理的に不可能である。(以上総合建設業)
- ◇仕事に関係のある「資格等」は、今後も積極的に習得に挑戦してもらいたい。(造園)
- ◇世代間の違いにより、現在は、理解と指導方法には差がありすぎる。(建築業)

**卸小売業**

- ◇これからの人材育成は、親会社の集合研修等に行きかせてもらうことにする。(青果卸)
- ◇育成したい人員が集まらず、人手不足が深刻な状況にある。(小売業)
- ◇社員の募集をしても、入社希望者がいない状況。まず従業員が「働きやすい環境」を作ることが、育成につながると考えている。(建設資材)
- ◇コロナ禍の3年間で、社員から「完全週休2日制」と「勤務時間の徹底」の要望が強まっていて、その対応で労働効率が低下している。(土産・食堂)

**サービス業**

- ◇募集しても、若手が入社しないので、育成にまで至っていない。(日本旅館)
- ◇自分の行っている仕事を若手たちに“体験”させ、その結果で得られる知識・スキルを身につけさせることが“経験”になるので、何かを感じてひとつでも取り込んでもらいたい。(一般貨物運送)
- ◇そもそも、必要な人員が集まらないために慢性的な人手(運転手)不足の状態であり、今は、人材育成どころではない。(タクシー)



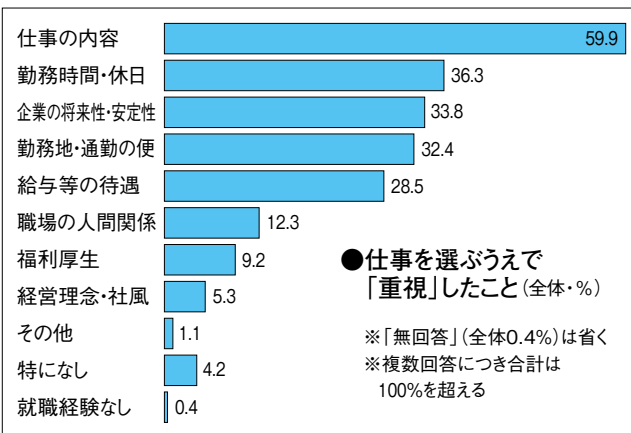
- ◆仕事を选ぶうえで「重視」したこと  
「仕事の内容」60% 「勤務時間・休日」36% 「企業の将来性・安定性」34%  
「勤務地・通勤の便」32% 「給与等の待遇」29%
- ◆仕事において、「不満」なこと  
「給与・賞与等」32% 「不満はない」30% 「勤務時間・残業等」20%  
「仕事の内容」19% 「休日取得」19%

「仕事を选ぶうえで重視したこと」を聞きました。

全体の上位5項目は、「仕事の内容」60%、「勤務時間・休日」36%、「企業の将来性・安定性」34%、「勤務地・通勤の便」32%、「給与等の待遇」29%となりました。

男女別では、男性は「仕事の内容」「企業の将来性・安定性」「給与等の待遇」「勤務時間・休日」「勤務地・通勤の便」、女性は「仕事の内容」「勤務時間・休日」「勤務地・通勤の便」「企業の将来性・安定性」「給与等の待遇」の順となりました。

世代別では、10～20代は「勤務時間・休日」「仕事の内容」「勤務地・通勤の便」「企業の将来性・安定性」「給与等の待遇」の順になり、30～40代は「仕事の内容」「企業の将来性・安定性」「勤務時間・休日」「給与等の待遇」「勤務地・通勤の便」で、50代以上は「仕事の内容」「勤務地・通勤の便」「企業の将来性・安定性」「勤務時間・休日」「給与等の待遇」の順となりました。

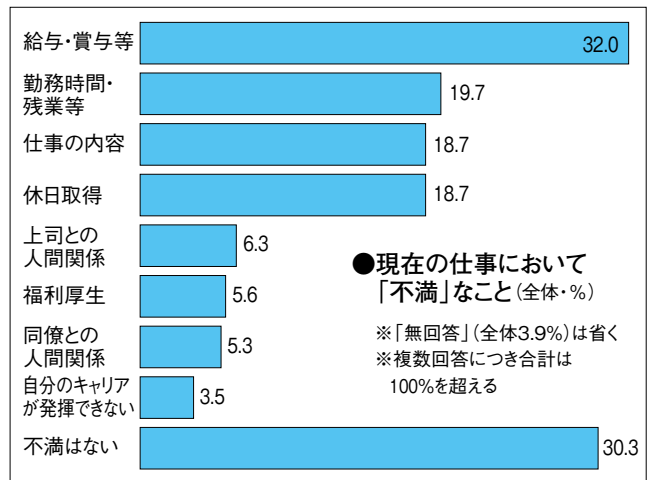


「現在の仕事において、不満なこと」を聞きました。  
全体の上位5項目は、「給与・賞与等」32%、「不満は

ない」30%、「勤務時間・残業等」20%、「仕事の内容」と「休日取得」同率の19%となりました。

男女別は、男性は全体と同様になり、女性は「不満はない」「給与・賞与等」「休日取得」「仕事の内容」「勤務時間・残業等」の順となりました。

世代別は、10～20代は「給与・賞与等」「不満はない」「仕事の内容」「勤務時間・残業等」「休日取得」の順になり、30～40代「給与・賞与等」「勤務時間・残業等」「仕事の内容」「休日取得」「不満はない」の順になり、50代以上は「不満はない」「給与・賞与等」「休日取得」「勤務時間・残業等」「仕事の内容」の順となりました。



【調査要項】

実施期日：2023年6月上旬～中旬  
実施場所：長野信用金庫本支店窓口  
調査数：284人(男性175人・女性109人)  
調査要領：アンケート用紙に記述(無記名)

「コロナ禍以降の就業環境の変化」に関する生活者からのコメント

- ◇コロナ禍では、非対面でのサービスが増えたが、規制解除後は、来店者が増えたように感じている。非対面サービスに慣れた人にとって、待ち時間や非効率な接客にストレスを感じるようで、処理時間や接客内容を以前より細かく見られている感じがして、繁忙期は緊張が多いと感じる。(30代女性)
- ◇リモート等で、「子育てと仕事を両立」できる職場環境が整いつつある。(30代男性)
- ◇社会を取り巻く環境がコロナ禍で一変したのを見ると、安易に転職することは出来ず、今の仕事を長く続けていこうと考えるようになった。(40代男性)
- ◇学生時代をコロナ禍で過ごした世代が、社会にどの

- ような影響を与えるか心配。(50代女性)
- ◇全国的な景気回復の中で、就業環境は明るい兆しが見える。しかし、相変わらず「少子高齢化・人口の減少・業界的な不人気」が、今後、どう影響するか注視したい。(50代男性)
- ◇コロナ禍で仕事量は減少しているが、年齢を重ねると、この程度が良い気がする。(60代以上女性)
- ◇コロナの規制緩和によって、やっと外部との交流が可能になり正常な生産・営業活動が再開した。マスク着用生活は続けているが、活発な交流が出来るように就業環境を整えたい。(60代以上男性)

# 北信濃 明治時代の風景

## (16) 大門町周辺

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、明治30年(1897)10月に出版された善光寺周辺の案内書、『善光寺<sup>ひとり</sup>独案内』の挿絵を紹介します。すでに活版印刷の時代になっていたのですが、これは長野市で出版された最後の木版本です。今回は長野市の大門町周辺の図です。

### 中央通り

絵の中段に左右(南北)に伸びているのが現在の中央通りで、旧北国街道です。右方面が善光寺で、左方面が長野駅です。このあたりは旧善光寺宿だった大門町で、道幅が広がっています。宿場だった名残で、両側には「五明館」「対旭館」という2大旅館がありました。

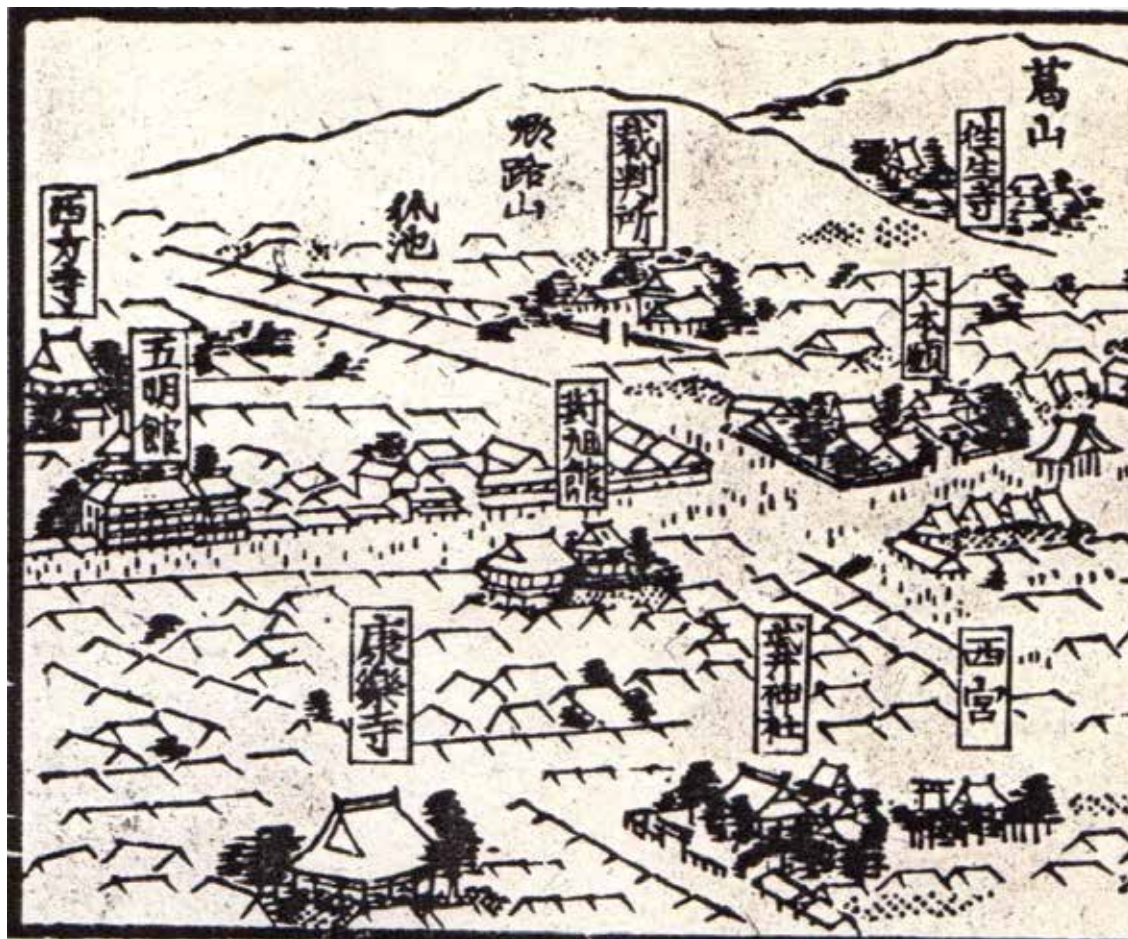
北国街道は善光寺前の交差点で右に折れて、越後方面に向かいます。よく見ると道路には細かい点がたくさんあって、大勢の人々が行き交っていることを表しています。

### 五明館

大門町の西側にある大旅館です。江戸時代から扇屋金四郎という旅籠屋で、嘉永元年(1848)からは宿場の問屋を務めました。明治時代には眺望を売り物にした木造4階建ての大建築となりましたが、この建物に付けられた名が「五明館」です。辞書によれば「五明」は扇の異称で、中国の故事に由来しています。扇屋という屋号を意識しての命名でしょう。明治21年(1888)に長野駅が開業すると駅前に支店を構え、本店と支店の間は私設の電話で連絡を取っていました。現在も「五明館」の看板を掲げた2階建ての建物が残っていますが、すでに旅館は廃業しています。

### 対旭館

江戸時代に本陣を務めた藤屋は、明治25年(1892)に3階建てで新築され、「対旭館」と名付けられま



『善光寺独案内』の大門町周辺の図



した。西方2kmほどにある旭山(785m)と向き合っているという意味でしょう。伊藤博文(明治32年)、乃木希典(明治39年)など、たくさんの著名人が宿泊しました。藤屋も長野駅前支店を出していました。現在の藤屋の建物は、大正13年(1924)の建築で、国の登録有形文化財となっています。

### 康楽寺

大門町の東の通りが東町で、その東側に面して浄土真宗本願寺派の白鳥山報恩院康楽寺があります。長野市篠ノ井塩崎にも、同名の

寺院があります。親鸞に帰依して康楽寺を開いたのは、海野氏出身の西仏坊です。その長男が塩崎康楽寺で、次男は東町に住んで広教寺となりました。後に塩崎康楽寺が大谷派に転宗したので、西本願寺は広教寺に康楽寺の名を与えました。ところが塩崎康楽寺がまた本願寺派に復帰したため、同宗内に同名寺院が2つあることになってしまったのです。

### 武井神社

善光寺三鎮守の1つで、善光寺七社の1つです。中央通りからこの神社前に入る道は、東町までが下堀小路、その先が武井小路または武井町と呼ばれて、この絵にも康楽寺と武井神社の間に東西の街並みが描かれています。現在は拡幅されて国道406号になっています。善光寺三鎮守と水内大社(城山県社)の4社は持ち回りで御柱祭を行っていますが、この神社の万延元年(1860)の御柱祭の行列を描いた大絵馬は、長野市の有形文化財となっています。境内には、名大関雷電が運んだという「雷電の力石」があります。

### 西宮神社

毎年11月のえびす講や、1月の初えびすでにぎわう神社です。この絵にあるように元は虎小路にあって、武井神社の北に隣接していました。旧北国街道沿いの現在地に移転したのは、大正時代のことです。寛文3年(1663)に勧請されたと伝えて



立町にあった松本裁判所長野支庁の跡。「明治天皇行幸之処」の碑が建っている

いますが、元は武井えびすと呼ばれていて、諏訪大社の下社秋宮にも武井えびすがまつられていることから、古代に武井神社とともに諏訪からやって来たという説もあります。

### 裁判所

長野市内の裁判所は、明治9年(1876)10月に、現在の信州大学教育学部キャンパスの東端にあった長野県庁内に、長野区裁判所が設置されたことに始まりました。この裁判所は同年の12月に大勸進内に移転し、翌年には松本裁判所長野支庁となりました。同裁判所は明治11年(1878)8月に、県庁北側の立町に庁舎を新築して移転しました。裁判所はその後長野始審裁判所となって、明治19年(1886)4月に花咲町に和風の建物を新築して移転しました。裁判所が花咲町から現在の旭町の合同庁舎に移転したのは、昭和41年(1966)5月のことです。

### 郷路山

「裁判所」の脇に、「郷路山」の文字があります。「郷路」とは石がゴロゴロしていることらしく、安山岩の石材を切り出す山として知られていました。善光寺の入口から本堂前に至る敷石も、郷路山の石材が使用されています。

8月号は「善光寺周辺」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)

◆仕事に対する「満足度(働きがい)」

## 「収入の増加・安定」51% 「顧客から喜ばれること」49% 「仕事をやり遂げた際の達成感」39%

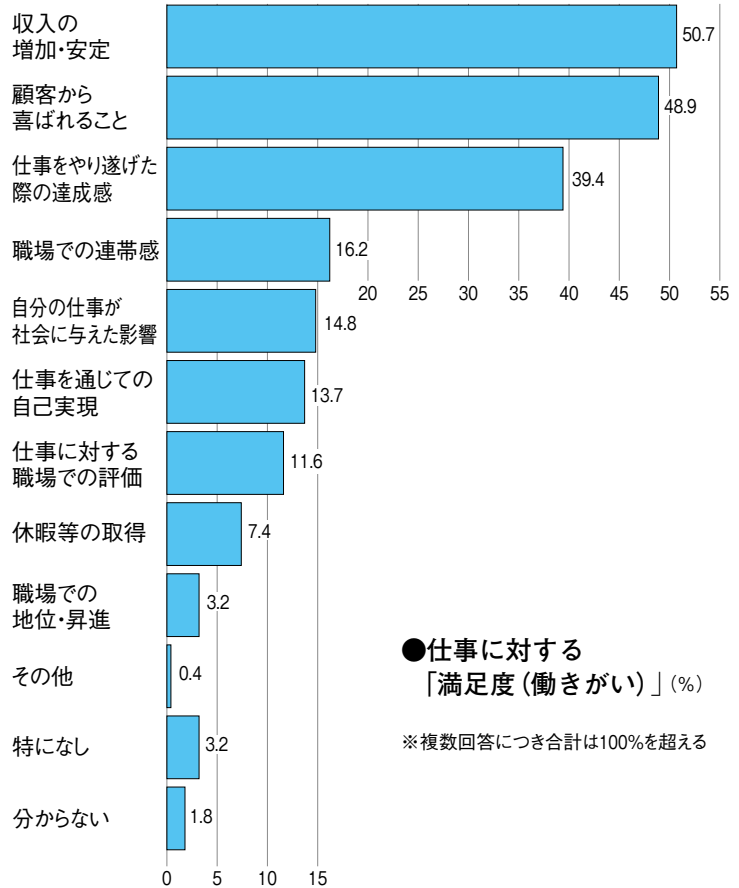
「仕事に対する満足度(働きがい)とは何か」を聞きました。

全体の上位を見ると、「収入の増加・安定」51%、「顧客から喜ばれること」49%、「仕事をやり遂げた際の達成感」39%までが上位3項目となり、次いで「職場での連帯感」16%、「自分の仕事が生社会に与えた影響」15%、「仕事を通じての自己実現」14%、「仕事に対する職場での評価」12%までが2桁となりました。

男女別の上位を見ると、全体と比べ、男性、女性ともに項目の順位に入れ替わりはありますが、ほぼ同様になっています。

世代別の上位を見ると、全体と比べ、全ての世代で、項目の順位に入れ替わりはありますが、ほぼ同様の結果となりました。

〈当金庫・2023年6月調査〉



### ●みなさまの税務相談のご案内 [8月]

(注)上の店名は開催場所、下の( )内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
8月 2日 水	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	8月 18日 金	本店営業部 (権堂支店・善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)
4日 金	太子町支店 (須坂支店・墨坂支店)	豊野支店	22日 火	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
8日 火	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	24日 木	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
9日 水	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	25日 金	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
16日 水	長池支店 (大豆島支店)		29日 火	本 部	
17日 木	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	30日 水	本 部	

